

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年 3月 1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1176501045
法人名	株式会社カネット・ふれあい
事業所名	ふれあい多居夢浦和
所在地	330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町1-32-27 (電話) 048-813-8192

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年2月28日

## 【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 13人, 非常勤 5人, 常勤換算	15.1人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄筋造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	40,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (150,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 550 円
	夕食	500 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	78 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	登坂医院、戸田中央総合病院、ラビット歯科
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、JR京浜東北線北浦和駅東口より15分程歩いた、学校の多い文教地区の閑静な住宅街の一角にある。ホームの玄関には、椅子が置いてあり、建物の周囲には園芸の様子がかがえる。L字型の建物で1、2階ほぼ同じ間取りとなっており、共有部分のリビングは、広く清潔感があり、掃除がいきとどいている。台所作業を手伝う利用者の姿は自然な感じであり、昼食後の日向ぼっこも当たり前の風景となっている。地域で大きく展開している病院の系列のグループホームであるが、地元の熱心なかかりつけ医のもと、見守りもしっかりとされている。開設当初から、町内会に出向いたり、納涼祭を地域に開放し、公民館のイベントに積極的に参加するなど、地域への働きかけに熱心に取り組まれており、平成18年4月から、地域密着型となり、さらなる関わりを深めていくことを視野に入れている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で取り組み、検討を望まれた洗剤の管理については、きちんと改善されている。外部評価については、すでに2回の調査を受けており、管理者、職員含めて、その内容、意義を理解している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、ホーム内の様々なミーティングで話し合いがされ、各フロアごとにリーダーが取りまとめており、活かした取り組みがなされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議については、3ヶ月に1度の割合で定期的開催されている。地域包括支援センター職員、民生委員、町会長、利用者家族の代表が参加し、ホームの代表とホーム内の様々なことについて話し合いがされている。行政の参加は無い。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱は当初置かれていたが、活用がほとんどないため、現在は置かれていない。家族との意見交換会を開催するなど、交流をもつことに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の様々なイベントに参加するように努めている。また地元の野菜をいただいたり、ホームの行事に参加していただいたりと、静かな住宅地にある生活環境の良さを活かしながら、地域に溶け込もうとしている姿勢が伺える。また、県内有数の文教地区であり、小中学校の訪問もあり、学生ボランティアの受け入れもしている。

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は、玄関に入っすぐ、見やすいところに掲示されている。本部の大きな理念と、ホーム独自の理念がある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングやカンファレンスなどで、行き詰まったときなどに必ず戻って考える『原点』になっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の様々なイベントに参加するように努めている。また、地域の方から地元の野菜をいただいたり、ホームの行事に参加していただいたりと、静かな住宅地にある生活環境の良さを活かしながら、地域に溶け込もうとしている姿勢が伺える。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の内容についてミーティングで話し合いをし、職員に周知の徹底をし、活かす取り組みをしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に4回、定期的に行われており、利用者の家族、地域包括支援センター、民生委員、町会長などから得られた意見をホームの運営や取り組みに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が窓口となり、市担当者と連絡はとっているが、十分な連携が取れていない現状にある。	○	ホームとしては、ホームの実情やケアサービスへの取り組み方など、市担当者に理解し深めていただきたいという思いがある。今後も積極的に働きかけ、市担当者との連携を深めていくことを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時だけでなく、必要なときには電話で連絡を取るなど報告をしている。また、『ふれあいだより』の便りを発行し、ホーム内の様子を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱は当初置かれていたが、活用がほとんどないため、現在は置かれていない。家族との意見交換会を開催するなど、交流をもつことに努めている。運営推進会議には必ず家族が参加している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	本部内のグループホーム間での異動もあるが、開設以来の職員がおり、リーダーとなってホームを支えている。リーダーを含め、職員一同「馴染みの関係」を断ち切らないように努力している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員については、成長段階に応じた仕事の応援体制があり、内外の研修にも積極的に参加ができるようになっている。資格取得についても、バックアップ体制があり、そのための休日の取得にも配慮がある。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの協会の事例検討会などに、積極的に参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居については、本部が管理している。本人が安心して利用できるように、入居前の面談、調査、入居後も家族の宿泊ができるなど、十分な配慮がされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	様々なミーティングやカンファレンスの中で、利用者のあり方や、その日常生活の過ごし方を見極めながら、良好な関係を築いている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを活かしたケアプランを活用しながら、ケアを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各階のリーダー、計画作成担当者を中心に、カンファレンスやミーティングをし、本人、家族の意向を重視した支援計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに定期的に立案するとともに、利用者に変化が生じた場合には、状態に即した見直しを行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況や要望に応じて、できる限り対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族によっては、指定した医療機関を希望し受診される方もいる。かかりつけ医の先生とは、職員との連携もよく取れており、具合が悪くなった時も素早く対応している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルに至ったケースはないが、日常生活の中で本人や家族の気持ちを汲み取り、話し合いながら支援していく方針である。	○	看取りはまだ行っていないが、系列のグループホームでは行われており、ノウハウは持っているので、今後の対応に期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いは原則敬語としている。記録に際しては表現にも配慮し、ファイリングして取り扱っている。個人情報に関する念書もある。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大枠の日課はあるが、個人の生活のペースに合わせたケアを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	温もりのある陶器の食器に、それぞれの茶碗やお箸を使っている。利用者と職員と一緒に台所に立ち、食事の準備や片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に何回と決めることなく、利用者本位に入浴が行われており、時間もゆったり取ってある。介助が必要な利用者は、職員の都合になりがちなどころはある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりに無理をしない程度に役割を見つけ行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を日課にしている方もおり、近くに出かけたり、少し遠くへ出かけたりして行けるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は掛かっておらず、身体拘束禁止については勉強会など行い、日々取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防訓練をしっかり行っており、記録がきちんと残っている。また、近隣への呼びかけも怠っていない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量を記録し、体調管理を徹底して行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	様々な空間に椅子、机が置かれており、休む工夫がされている。季節に合わせた飾りもさりげなくされており、居心地の良い空間となるよう配慮している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具などを持ち込むことは自由であり、部屋は利用者の思い思いに作られ、その人らしい暮らしの場となっている。		